

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/11/25号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



ウクライナ情勢緊迫で70ドル台に切り返す

NY原油先物相場は、1バレル=71ドル台前半まで急反発した。需給緩和見通しの織り込みで66.61ドルまで値下がりしていたが、ウクライナ情勢の緊迫化で急伸地合に転じている。ウクライナ軍は、米英から提供された長距離ミサイルでロシア領内を攻撃している。これに対して、ロシアは核による報復攻撃を可能にする核ドクトリンの改定を行い、更に長距離ミサイルでウクライナに対する反撃を行っている。軍事的な緊張がエスカレートしたことで、ウクライナがロシア石油施設を攻撃し、ロシア産原油・石油製品の供給に混乱が生じる可能性が警戒された。週内に実際に供給障害が発生することはなかったが、投機筋が安値修正の動きを加速させた。

石油輸出国機構（OPEC）プラスが来年1～3月期も減産縮小計画を延期するとの見方が浮上したこともポジティブ。12月1日にOPECプラス閣僚級会合が予定されているが、需要の弱さから減産縮小を更に先送りせざるを得ないとの見方が浮上している。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（11月15日時点）は、原油が前週比55万バレル増、ガソリンが205万バレル増、石油精製品が11万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

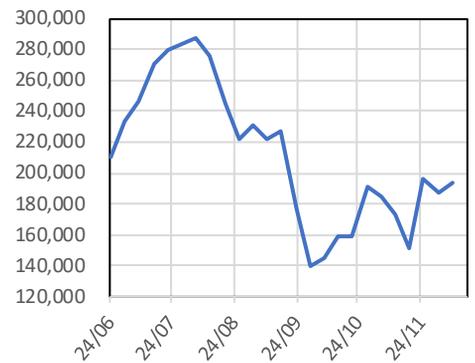
ウクライナ情勢への対応優先、供給障害なければ短期要因も

ウクライナ情勢が緊迫化していることへの対応を迫られている。突然にウクライナとロシアの軍事的な緊張が高まっており、月末に向けて更に緊張感を高めるような動きが見られると、地政学リスクの織り込みで底固い展開が続きやすい。ただし、これが持続的な上昇相場に発展するか否かは、実際にロシアの原油・石油製品供給体制に混乱がみられるか否かに依存する。仮にウクライナがロシア石油関連施設に対して大規模なミサイル攻撃を行うような事態になると、75ドルの節目を突破する可能性がある。一方、漠然とした不安心理に留まるのであれば、徐々に上値が重くなる見通し。原油供給環境への実害の有無に注目したい。

基調としては、需給緩和の値下がり見通しに変化は生じない。中国を筆頭とした需要の弱さに対して、石油輸出国機構（OPEC）プラス以外からの増産圧力が強く、世界的な在庫積み増しが年末、更には来年に向かって続く見通しは維持されている。年初来安値更新を打診する方向性に変化は生じない見通し。ただし、地政学リスクを完全に無視することはできず、短期上振れリスクの消化が求められる。

12月1日にOPECプラス会合が予定されているため、来年以降の供給管理政策を巡る議論も活発化しよう。OPECプラスは二度にわたって減産縮小計画を延期し、現在は12月も産油水準の変更は予定していない。需要の弱さから減産縮小を更に先送りすべきとの意見が強まると、一定の下値サポート要因になる可能性がある。ただし、何等かの供給障害が発生しない限り、OPECプラスの増産見送りを前提にしても、需給緩和見通しが修正を迫られる環境にはない。原油相場の押し上げ要因としては機能しないだろう。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



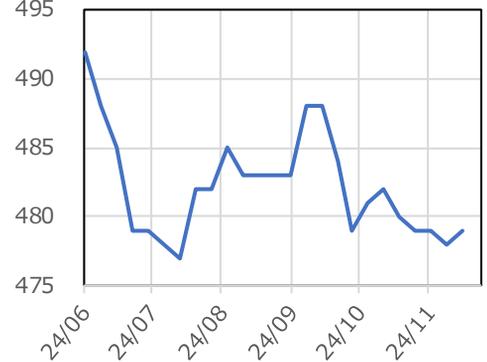
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

